



がんゲノム医療の臨床応用と研究開発

- 1000症例についての全エクソン解析と全遺伝子発現解析 -

日時 2015年9月8日(火) 13時30分 - 16時30分

※受付開始 13時00分です。

会場 丸の内トラストタワーN館11階 (東京駅 日本橋口より 徒歩1分)

トラストシティ カンファレンス・丸の内 Room3+4

東京都千代田区丸の内1-8-1 TEL : 03-6212-5211

主催 静岡県立静岡がんセンター

共催 (公財)静岡県産業振興財団 ファルマバレーセンター

参加費 無料、定員 150人

概要

静岡がんセンターでは、2014年1月より、がんの種類を問わず、すべての手術例のうち試料入手可能であった症例を対象に、全エクソン解析と全遺伝子発現解析を行い、必要に応じて蛋白や代謝産物の解析をも行う「プロジェクトHOPE (High-tech Omics-based Patient Evaluation)」を推進してきました。現在、千数百例が登録され、そのうち千例についての解析を終えましたので報告会を開催いたします。

プロジェクトHOPEの最大の特徴は、単一の医療機関が主体となったプロジェクトであり、倫理面に配慮しながら、臨床情報と分析結果とを一例一例、突き合わせた解析が可能で、新たな“がんゲノム医療”の姿が明らかにされつつある点です。同時に、プロジェクトでは十分量のがん組織、正常組織、血液検体が保管されており、研究成果を、創薬、既存薬の適応拡大、バイオマーカー・診断薬開発などに生かすことが可能です。この度、プロジェクトHOPEの概要説明と現時点での研究成果をまとめて報告させていただきます。

プログラム

13:30-14:30

プロジェクトHOPEの概要

静岡県立静岡がんセンター
総長 山口 建

14:40-16:00

方法と研究成果

1. インフォームドコンセント
2. 全エクソン解析
3. 全遺伝子発現
4. プロテオミクス
5. メタボロミクス

静岡県立静岡がんセンター研究所

- 楠原 正俊 (副所長、地域資源研究部 部長)
浦上 研一 (診断技術開発研究部 部長)
大島 啓一 (遺伝子診療研究部 部長代理)
秋山 靖人 (免疫治療研究部 部長)
楠原 正俊 (副所長、地域資源研究部 部長)

16:00-16:30

質疑応答

静岡がん会議 サテライトフォーラム <第2部>

FAX番号 055-980-6320

参加申込書

ふりがな

●御社名： _____

●所属部署（役職名）： _____

ふりがな

●氏名： _____

●連絡先

電話番号： _____

FAX番号： _____

メールアドレス： _____

お申し込み：9月2日（水）までに、電子メールまたはFAXでお申し込みください。

【お問い合わせ先】

公益財団法人 静岡県産業振興財団

ファルマバレーセンター 企画部 地域イノベーション担当

〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪1007番地

電話：055-980-6333 FAX：055-980-6320

E-mail：kikakubu2@fuji-pvc.jp

※ 第1部とは申込先が異なりますので御注意下さい。